小学校第５学年　外国語活動学習指導案

単元名：Lesson４　I　like　apples.「好きなものを伝えよう」

指導者　府中市立上下北小学校　指導教諭　広田　久惠
府中市立上下中学校　教諭　平井奈穂子
府中市教育委員会ＡＬＴ　Ｅｍｉｌｙ　Ｌａｗ

１　日　時　　平成 25 年７月１日（月）第３校時
２　場　所　　３階ホール
３　学　年　　第５学年　男子 17 名　女子 11 名　計 28 名
４　単元名　　Hi,friends！１　Lesson４　I　like　apples.「好きなものを伝えよう」

単元について

○単元観

本単元では，Lesson１で学習した「自分の名前」を相手に伝えることやLesson３のインタビュー活動を基に「自分の好きなもの・嫌いなもの」を積極的に伝えることを最終の目的としている。好きなものは，児童にとって身近な食べ物，飲み物，動物やスポーツに限定し，さらにすでに外来語として触れたことのある語を取り上げる。テキストに取り上げていないものが好きだという場合には，児童の「伝えたい」という気持ちを大事にし,その気持ちを育むために，個別指導などによりできるだけ取り上げるようにする。

また，児童にとって日常生活で馴染みのある外来語を扱うことで，英語と日本語の発音や表現の違いにも気付かせることができる。その際，ALT や JTE の発音を聞かせたり，チャンツやゲーム等で繰り返し発音したり，様々な方法を用いたりして指導する。

本単元での表現と主な語彙は次の通りである。

表現	Do you like apples?　Yes，I　do.　I like apples. No，I don't.　I　don't　like　apples.	
語彙	食べ物	（cherries，apples，strawberries，lemons，bananas，pineapples，peaches，grapes，oranges，melons，kiwi　fruits，ice　cream，milk，juice ）
	動物	（birds，rabbits，dogs，cats，spiders）
	スポーツ	（baseball，soccer，swimming，basketball）

○児童観

本学級の児童は，外国語活動の時間に，学級担任，中学校外国語科教諭やＡＬＴと共に，チャンツやゲーム等を通して外国語に慣れ親しんでいる。これまで児童は，Lesson１で英語での挨拶や自分の名前の言い方・世界の様々な国の挨拶を，Lesson２で，感情や様子を表情やジェスチャーを付けて相手に伝えることを，Lesson３で，１から 20 の数の言い方や尋ね方を学習してきた。外国語活動の時間を楽しみにしている児童が多く，意欲的に活動している。また，外国語活動の時間以外の休み時間等にも，ALT や JTE と進んで話している児童が多い。しかし，単元によっては，活動時の声が小さくなったり，Lesson３のインタビュー活動では消極的で相手が来てくれるのを待ったりする児童の姿も見られた。

６月に行った外国語活動に関するアンケートの結果は次の通りである。

（人）

	質　　問	よく あてはまる	あてはまる	あまり あてはまらない	あてはまらない
１	外国語活動の時間は楽しいですか。	15	６	５	２
２	それはなぜですか。	・歌やゲームが楽しいから。 ・新しい英語が覚えられるから ・ＡＬＴと話せるから。 ・先生や友だちと英語で話せるから。 ・英語が分かるようになるのが楽しいから。			
３	外国語活動の時間に，友だちの良さに気づきましたか。	11	10	３	４
４	それはどんなことですか。	・進んで話していた。 ・はっきりした声で話していた。 ・友だちや先生の目を見て聞いていた。			
５	先生や友だちの話を進んで聞こうとしましたか。	12	14	１	１
６	先生や友だちに進んで話そうとしましたか。	５	15	６	２

多くの児童が「外国語活動は楽しい」と回答している。授業の終末に行う振り返りにおいても，「友だちがうなずいて聞いてくれたので安心して話すことができた。」等，友だちの姿や自分の頑張りを肯定的に評価することが多い。しかし，「進んで聞こうとしましたか」「進んで話そうとしましたか」という問いへの回答を比べると，聞くことには積極的に取り組もうとしているが，話すことには消極的な児童の多いことが分かる。振り返りにおいても，間違うことへの不安等について記述している児童もいる。そして，「友だちの良さ」に気付きにくいと回答した児童が７人いる。

○指導観

第５学年での外国語活動の学習が，第６学年の外国語活動や中学校外国語科への学習に楽しみをもった形で続くようにしたい。そのために，児童が，どの単元の学習でも不安感をなくし，コミュニケーションを図ることの楽しさを実際に体験できるように，指導に当たっては次のような点に留意する。

① コミュニケーション活動の話題として，食べ物，動物，スポーツ等，児童が外来語として聞き慣れているものや身近なものを教材とする。そのことは，児童にとって親しみがあり関心を持って活動に取り組めると考える。

② リピート練習させるだけでなく，チャンツやゲーム・歌等を繰り返し取り入れる。また，表現が難しければ ALT や JTE に自由に尋ねることを常日頃からできるようにしておく。これらの活動で，自信を持って発話でき，進んで話そうとする児童が育つと考える。

③ ３人の指導者の役割を明確にし，それぞれの立場から児童を指導，支援していく。中でも，中学校外国語科教諭は，外国語活動と外国語科とをつなぐ役割として，学習内容の系統性を児童に

紹介したり，小学校と中学校の間に指導法の一貫性をもたせたりしていく。

④ 友だちとの関係を円滑にする働きをもつ，「お礼を言う，ほめる」等の表現や動作を使う活動を設定し，児童が自然に活用できるようにする。そのことにより，友だちとのかかわりが深まり，安心して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が育成できると考える。そのことで，「友だちの良さ」に気づける児童が育つと考える。

⑤ 支援の必要な児童への手立てとして，英語表現が難しい場合には，何度でも ALT や JTE に尋ねてよいことや，ヒントコーナーを作る等する。

○学習内容の関連（単元の系統性）

外国語活動から外国語科への関連 〔中学校教科書：NEW HORIZON English Course〕は，次の通りである。

Hi,friends!1	Hi,friends!2	中学英語 1
Lesson 4 I like apples. 好きなものを伝えよう		はじめましてブラウン先生（Unit3） Part1 自己紹介をしよう　I like soccer. Part2 質問をしよう　Do you play the piano? Yes, I do. No, I do not. Part3 質問を続けよう　I do not have a car.

単元の目標

（１）単元の目標

○好きなものやきらいなものについて，積極的に伝えようとする。

○好きなものやきらいなものを表したり尋ねたりする表現に慣れ親しむ。

○日本語と英語の音の違いに気付く。

（２）評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
食べ物，動物，スポーツ等についての自分の「好き・嫌い」を相手にわかりやすく伝えている。	食べ物，動物，スポーツ等の「好き・嫌い」の言い方を尋ねたり答えたりしている。	日本語と英語とでは，物の名前の音が違うことに気付いている。

指導と評価の計画

（全５時間）

次	学習内容（時数）	評価					
		コ	慣	気	評価規準	評価方法	他学年との関連（同学年を含む）
一	日本語と英語の音の違いに気付き，好きなものや嫌いなものを表す表現を知る。（1）			○	日本語と英語の音が違うことに気付いている。	行動観察 振り返りカード分析	はじめましてブラウン先生（中1　Unit3） Part1 自己紹介をしよう I like soccer. Part2 質問をしよう Do you play the piano? Yes,I do. No, I do not. Part3 質問を続けよう I do not have a car. 自己紹介（中1 Multi Plus1）
二	好きなものや嫌いなものを表す表現に慣れ親しむ。（1）		○		好きなものや嫌いなものを表す表現を聞いたり言ったりしている。	行動観察 振り返りカード点検 ノート点検	
三（本時）	好きなものや嫌いなものを表す表現に慣れ親しむ。（1）		○		自分の好きなものや嫌いなものを答えたり，友達に尋ねたりしている。	行動観察 振り返りカード点検	
四	好きなものや嫌いなものについて積極的に伝え合おうとする。（1）	○			進んで好きなものを尋ねたり答えたりしている。	行動観察 振り返りカード点検	
五	好きなものや嫌いなものについて積極的に伝え合おうとする。（1） ★コミュニケーション活動 自分の好きなもの嫌いなものを話している。	○			好きなものや嫌いなものについて，自分から相手を見つけて尋ねたり答えたりしている。	行動観察 振り返りカード点検	

（府中市小中一貫カリキュラムより）

本時の学習

（1） 本時の目標

自分の好きなものや嫌いなものを答えたり，尋ねたりする表現に慣れ親しむ。

（2） 本時の学習展開

学習活動	指導上の留意事項			評価規準（評価方法）
	HRT	JTE	ALT	
1　ウォームアップを行う。				
1　挨拶をする。	・明るい声や笑顔で挨拶する。児童一人一人の様子をつかむ。	・明るい声や笑顔で挨拶する。	・天気や月日，曜日等を尋ねる。	

10分	2　歌を歌う。♪Pease Porridge　Hot♪ ① 手遊びを取り入れて，楽しく歌う。 ② キーワードゲームを行う。 ③ チャンツを行う。	・カセットを操作する。 ・キーワードのカードを用意する。 ・電子黒板を操作する。	・発音を注意深く聞くよう声をかける。 発音を注意深く聞かせる。 教	・発音のモデルを示す。 ・キーワードの言葉を言う。	
2　本時のめあてと活動の流れを知る。					
	3　本時のめあてと授業の流れを確認する。	・本時のめあてを提示する。			
	自分の好きなものやきらいなものを答えたり，たずねたりしよう。				
8分	4　どんな態度で話すと相手によく伝わるかについてペアで交流する。 【ペアトーク】 ・相手に聞こえる声で言う。 ・目を見て話す。 ・聞いた後書き込む。	・インタビューすることを伝え，活動への意欲を高める。	伝えるにはどうすればよいか考えさせる。 ・相手に聞こえる声で言う。 ・目を見て話す。　等 考 ・ペアトーク後，全体で確認する。		
3　基本表現を練習する。					
10分	5　ＪＴＥとＡＬＴのデモンストレーションを聞く。	・内容を推測しながら聞くように話す。	・デモンストレーションを行う。	・デモンストレーションを行う。	
	A：Hello! A：Do you like apples? A：Thank you!		J：Hello! J：Yes, I　do.　I like　apples. No, I don't.　I　don't　like　apples. J：You are welcome.		
	6　答えたり尋ねたりするのに必要な表現の練習を３人の先生と行う。	・表現の練習を１・２班の児童と行う。	・表現の練習を児３・４班の児童と行う。	・表現の練習を５・６班の児童と行う。	
4　インタビューを行う。					
	7　友だちの好き・嫌いを予想して書いてから，インタビューを始める。	・インタビューのやり方を説明する。 ・インタビュー後，回答を書き込むことを話す。	相手に伝わるよう，工夫して話す力 表		食べ物，動物，スポーツ等についての自分の「好き・嫌い」を答えたり，尋ねたりしている。（行動観察）

12分	① インタビューの表に友だちの「好き・嫌い」を予想して書く。 ② インタビューを始め，聞き取ったら回答の欄に○×を付ける。 ③ ALT の「好き・嫌いなもの」を聞いて,内容を理解して発表する。	・CD をかけて，インタビューしやすい雰囲気を作る。 ・○×を付けているか，全児童を見て回る。 ・何が好きで，何が嫌いか聞いた内容を発表させる。	・英語表現の言い方が難しければ，何度でも尋ねに来てよいことを伝える。 ・インタビューに自信がもちにくいA児の支援を行う。 ・児童に理解できない時には，ヒントを出す。	・できていることに対して，ほめたり励ましの声をかけたりする。 ・インタビューに自信がもちにくいB児の支援を行う。 ・「好きなもの・嫌いなもの」について発表する。	
５　今日の学習を振り返る。					
5分	8　今日の学習を振り返る。 ・振り返りカードへ記入し，JTE と ALT の感想を聞く。	・振り返りカードに,「本時のめあてについて」「友だちから学んだこと」を記入させる。	・中学校の外国語科と本時の学習内容のつながりについて話す。	・英語を聞いたり話したりすることについて本時の授業の評価をする。	食べ物，動物，スポーツ等についての自分の「好き・嫌い」を伝えたりたずねたりしている。（振り返りカード点検）
	9　挨拶をする。	挨拶をする。	・次時につながる明るい挨拶をする。	挨拶をする。	

板書計画

ＬＥＳＳＯＮ４　好きなものを伝えよう

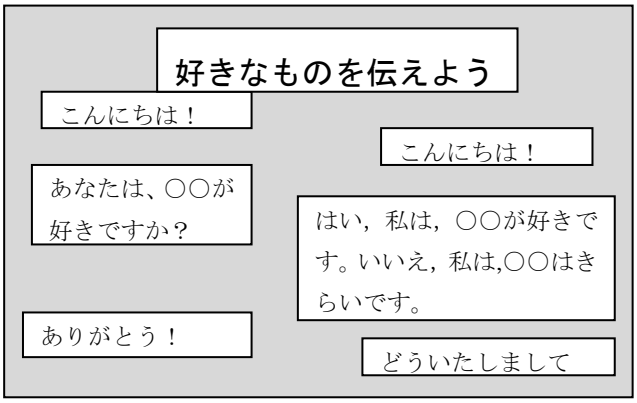
自分の好きなものやきらいなものを答えたり，たずねたりしよう。

授業の流れ

１歌を歌う。
２キーワードゲーム
３チャンツ
４めあてと話合い
５言い方の練習
６インタビュー
７ふり返り

分かりやすい伝え方

- **聞き取りやすい声で**
- **目を見て**
- **聞いた後，書き込む。**



ふり返り